

～研究主題～

学ぶ意欲を高め、確かな学力の向上を目指す授業の創造



児童生徒の課題

学習意欲の高い子  
とそうでない子が…

知識・技能の定  
着がもう一步

自分の考えを説  
明するのが苦手

今日、授業で勉強した  
ことが分からなかった…

どうやって説明すれば  
いいのかな？

自分の考えを発表  
したいなあ。

難しくてあんまり  
楽しくないなあ。

もう少し練習したい  
なあ。



## 次の3つの視点で授業を構成しては？

### 視点1～単元の導入を工夫してみましょう～

単元の導入で、生活と関連がある課題を提示したり、学習のゴールイメージを示したりすることで、見通しをもって学習を進めたり、学習意欲を高めたりすることができます。



### 視点2～知識・技能定着の場を設定しましょう～

本単元で必要な既習事項や前時の学習内容、算数・数学的用語を確認する場を繰り返し設定しましょう。



### 視点3～数学的に表現し、伝え合う場を設定しましょう～

算数・数学的用語を用いたり、式や表、グラフ、図を用いたりすることで、相手に分かりやすく伝えることができます。また、伝え合うことで、自分の考えを再構築することができます。理解を深めることができます。



## 視点1 単元の導入の工夫

- ① 生活との関連がある課題を提示しよう！
- ② 単元のゴールイメージをもたせよう！
- ③ 単元内の学習に、つながりをもたせよう！



### ① 生活との関連がある課題を提示する。

「この勉強は、こういうときに役立つんだ」  
という実生活と結びつくような導入を行うことで、学習意欲を高めることができます。

### ② 単元のゴールイメージをもたせる。

「最後には、こんな問題が解けるようになるんだ」  
単元の終盤に行う問題を導入時に提示することで、児童生徒自身が、単元のゴールイメージを確認することができ、見通しをもって学習を進めさせることができます。

### ③ 単元内の学習に、つながりをもたせる。

「この前の勉強を生かせるぞ」  
と、学習につながりがあることに気付かせることで、学習意欲を高めることができます。

## 視点2 知識・技能の定着

- ① 単元でおさえるべき事項を整理させよう！
- ② 自分で選んだ単元の演習問題をテスト形式で確認させよう！
- ③ 同じ問題を繰り返し解かせよう！



- ① 単元でおさえるべき事項を整理させる。  
「最低限これは知っておこう」  
という内容を整理することで、学習内容を精選することができます。

- ② 自分で選んだ単元の演習問題をテスト形式で確認させる。  
「自分はこの問題なら解ける」  
という自信をもたせることで、自分の学力に応じた演習問題に取り組ませることができます。

- ③ 同じ問題を繰り返し解かせる。  
「もう十分やった、解ける」  
という自信をもたせることで、確実に知識・技能を定着させることができます。

## 視点3 数学的に表現し、伝え合う場の設定

- ① 算数・数学的用語を活用させよう！
- ② 式や表、グラフ、図を使って、視覚的に説明させよう！
- ③ 伝え合いを通して、学習内容を再構築させよう！

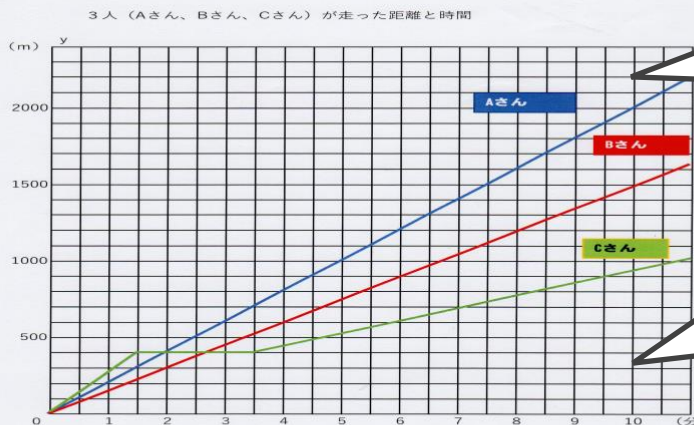


- ① 算数・数学的用語を活用させる。  
「用語を使えば、簡単につたえられるんだ」  
ということに気付かせることで、自分の考えを簡潔・明確に伝えることができます。

- ② 式や表、グラフ、図を使って、視覚的に説明させる。  
「グラフを使うと分かりやすいな」  
という感覚をもたせることで、式や表、グラフ、図を、積極的に説明に使わせることができます。

- ③ 伝え合いを通して、学習内容を再構築させる。  
「なるほど、その説明いいね」  
という説明を繰り返すことで、学習内容の理解を深めることができます。

### 視点 1—① 生活との関連がある課題を提示しよう! (6年 比例)



3000m走ります。このスピードで走り続けると、Aさんがゴールして何分後にBさんはゴールに着くでしょう。

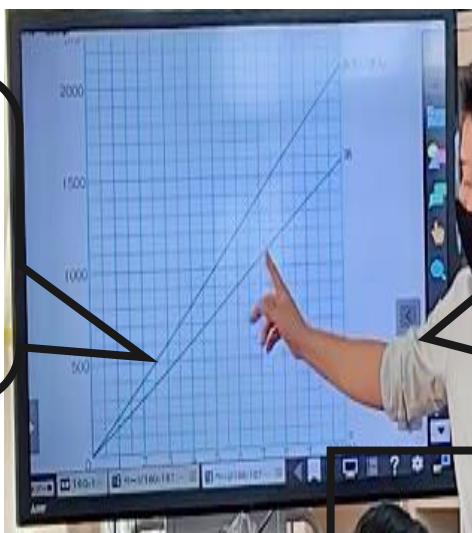
持久走大会に向け、体育で走っているのでイメージしやすい。

直線とならないCさんのグラフを提示することで、いろいろなグラフを読み取ろうとする意欲を高めることができる。

「この勉強は、こういうときに役立つんだ」という実生活と結びつくような導入を行うことで、学習意欲を高めることにつながっていく。

### 視点 1—② 単元のゴールイメージをもたせよう! (6年比例)

毎時間、単元の最後に扱う問題を提示し、学習意欲を継続させよう!

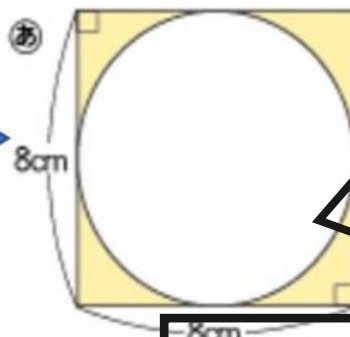


モニターに提示することで、短時間で確認ができる!

<効果>  
単元のゴールイメージを示すことで、見通しをもって学習を進めたり、学習意欲を高めたりすることができる。

## 視点 1—②

### 単元のゴールイメージをもたせよう! (6年円の面積)



単元の終盤で扱う問題を提示し、何がわかれば解けるのかを全体で確認!

既習事項の確認を行なって、本単元の円の面積につなげよう!

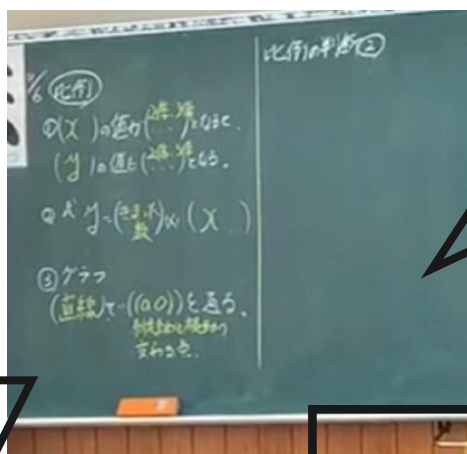
<効果>

既習事項を確認し、単元の最後の問題を提示することで、見通しをもって学習に取り組むことができる。

## 視点 1—③

### 単元のゴールイメージをもたせよう! (6年比例)

前時に行なった内容を、毎時間導入時に確認テストを行うことで、前時の知識が本時にも繋がっていることが確認できる!



いつも同じ場所に問題が書いてあるので、確認しやすい!

<効果>

前時で学んだ学習を生かしながら、学習を進めていくことで、繋がりのある学習を進めていくことができる。

## 視点 2-①本単元で学ぶ用語をまとめよう

教科書の色をついた部分から用語の意味をまとめる(写す)。

4章 変化と対応 用語	
変数	いろいろな値をとる文字
関数	ともなう変わる2つの変数 $x, y$ があり、 $x$ の値を決めると、 $y$ の値が決まる。また、 $y$ の値が決まると、 $x$ の値が決まる。このとき、 $y$ は $x$ の関数である。
変域	
定数	

この中から、いくつかをテストで出題することを事前に伝える。

この  $x, y$  のように、いろいろな値をとる変数  $x$  と  $y$  があります。また、 $x$  の値を決めると、 $y$  の値が決まる。ただ1つに決まる。とき、 $y$  は  $x$  の関数である といいます。

毎単元の導入で教科書を見通してどんな用語を学ぶかをあらかじめまとめておく

## 視点 2-③同じ問題を繰り返し解こう



さて、この問題は？  
自分は、この問題が  
でたら、ちゃんと答え  
られるかな？

あ！これは前回間違えた問題だ。  
今回はちゃんと答えられて、よかった。

用語の相互チェックや簡単な問題を出し合ったり、前回解いた演習問題をもう一度たいたりすることで、習熟を図る。



## 視点 3-③ 伝え合い(教え合い)を通して理解を深めよう



あーなるほど、  
〇〇さんの説明  
分かりやすいな。  
こうやって説明  
すればいいのか。

この問題は、  
方程式の左辺に…  
ここが  
こうなって…

説明するときには、数学の  
用語、式、図、表などを使う  
と相手に伝わりやすいことを  
体験する。